

第2学年1組 美術科学習指導案

指導者 ○○ ○○

1 題材 「ゼンタングルを描こう」

(ゼンタングルとは、パターンを組み合わせて作品を描く新感覚のアートのこと)

2 学習の構想

【このような生徒だから】

本学年の生徒は、美術に興味関心を持つ生徒が多く、どんな課題に対しても熱心に取り組む姿勢が見られる。ただ、主題を生み出し、主題の中心となるものや、表す形や色彩などを整理して創造的な構成を工夫し、心豊かに構想する段階には至っていない。また、互いの作品についてそれぞれの主題や製作意図を聞き、客観的な見方・考え方を深めていく経験が少ない。そのため、それぞれの感性の豊かさを生かし自尊感情を高めつつ、対話的な活動を行うことで、生徒が互いのよさを認め合える場面を設定したい。また、この作品づくりはどの作品も素晴らしい出来栄えになり得るため、今までの作品の出来栄えに自信のなかった生徒も、お互いの感性の豊かさを感じることができると考える。そこで今回の作品は、集合作品として校長室の前の壁に掲示する。他の生徒が、作品を容易に鑑賞することができ、その感性の豊かさを認め合うことで、成就感や達成感を味わわせ、自尊感情も高めていきたい。

【このような内容を】

本題材は、「感じ取ったことや考えたことなどを基にした表現」に示された指導事項のうち、(1)ア(ア)、[共通事項](1)ア、イに関する内容である。

対象や事象を深く見つめ感じ取ったことや考えたこと、夢、想像や感情などの心の世界などを基に主題を生み出し、単純化や省略、強調、材料の組合せなどを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練りながら、形の性質や、それらが感情にもたらす効果などを理解したり、造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解したりする内容である。

多感な年頃で、揺れ動く自分の「心」を見つめ、自ら主題を生み出し、他者と協力・協働しながら作品の構想を練ることができる本題材はキャリア教育の視点と関連することで大変意義深いものになると考える。

【このような視点を意識して】

◎自他の個性を尊重し、協力・協働してものごとに取り組む <A人間関係形成・社会形成能力>

【このような指導で】

一次では、表現の楽しさを味わわせることができるように、簡単なパターンを用いて、空白を埋めながら作品を制作させ、構成や装飾の目的や条件など基に、独自のパターンから受けるイメージを「心」を枠組として主題を考えさせる。

二次では、主題を基に、構成の美しさの要素を意識させながら、アイデアスケッチを描く活動を設定する。

三次では、まず、自分では気付かなかった視点を知り、よりよい作品制作への挑戦意欲を喚起することができるように、班員のアイデアスケッチを回覧しながらお互いの作品のよさを認め合う活動を設定する。

次に、作品をよりよいものにするように班交流を通して、他者のオリジナルのパターンや、アイデアスケッチで使われている表現の工夫を見つけさせ、学習プリントに記入させる。

最後に、完成した自分や友達の作品の良さを味わわせる活動を設定する。

【このような生徒に】

<題材の目標>

知識及び技能	形の性質や、それらが感情にもたらす効果などを理解する。 造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解する。
思考力、判断力、表現力等	夢、創造や感情などの心の世界などを基に主題を生み出し、単純化や省略、強調、材料の組合せなどを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練る。
学びに向かう力、人間性等	美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に感じ取ったことや考えたことなどを基にした表現の学習活動に取り組もうとする。

3 単元計画（全8時間）

A…人間関係形成・社会形成能力 B…自己理解・自己管理能力 C…課題対応能力 D…キャリアプランニング能力

次	時	主な学習活動	指導上の留意点（○），評価規準と方法（◇）	視点
一	1	参考作品を見て，作者の意図やその表現について味わう。 ゼンタングルのパターンを描いてみる。	○ 表現の楽しさを味わわせることができるように，簡単なパターンを用いて，空白を埋めながら作品を制作する活動を設定する。その際，動画やICTを活用する。 ◇ 作品の効果的な技法や発想を味わい，表現の学習活動に取り組もうとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】《ワークシート》	C
	1	自分の気に入ったゼンタングルのパターンを描き，それを参考に自分独自のパターンを考える。 主題を決める。 (予想される主題) 喜び，怒り，無心，解放など	○ 様々なパターンの資料を使い，直線や曲線の組み合わせや粗密，白と黒の対比などによって生まれる効果を感じ取らせる。 ○ 構成や装飾の目的や条件などを基に，独自のパターンから受けるイメージを「心」を枠組として主題を考えさせる。 ◇ パターンの面白さや美しさを理解し，オリジナルのパターンを発想することができる。 【知識・技能】【思考・判断・表現】 《ワークシート》	C
二	2	自分が描きたいものの構想を練りアイデアスケッチする。	○ 主題を基に，コントラストやグラデーションなど構成の美しさの要素を意識しながら，ボーダー（枠の型）[シルエットやアルファベット]を提示し，それらを自分の作品に取り入れて構成することを理解させ，アイデアスケッチさせる。 ◇ 構成の美しさを感じ取ることができる。 【思考・判断・表現】《ワークシート》	D
三	1 （本時）	他クラスのオリジナルのパターンや，アイデアスケッチを実物投影機で見る。 お互いの独自のパターンや，アイデアスケッチをもとに，班で交流する。 交流した後，変更したい部分の修正を行う。 アドバイスを生かし，本番の作品制作に取りかかる。	○ 他者の作品を見ることで，パターンやボーダーの構成美の要素を，作者になったつもりで考えさせ，作品制作のヒントにさせる。 ○ 作品制作への挑戦意欲を喚起することができるように，班交流を通して，他者のオリジナルのパターンや，アイデアスケッチで使われている表現の工夫を見つけさせ，ワークシートに記入させる。 ○ 作品をよりよいものにすることができるように，ヒントで得たボーダーやパターンに変更してもよいことを告げ，下書きに取り組みさせる。 ◇ アイデアスケッチの交流から班員の工夫を感じとり，自分の作品をよりよくすることに生かすことができる。【思考・判断・表現】《ワークシート》	A C
	2	本番用の作品制作を行う。	○ 自分が考えたパターンや，他のパターンを効果的に使い，作品制作に取り組みさせる。 ◇ 効果的に構想し作品制作に取り組むことができる。【思考・判断・表現】《様相観察》	C
	1	お互いの作品を見て，感想を書く。	○ 自分や友達の作品のよさを味わわせる。 ◇ 自他の作品のよさを味わい認め合うことができる。【知識・技能】【主体的に学習に取り組む態度】 《ワークシート》	A B

4 本時 令和3年11月18日（木） 13:50～14:40 於：美術室

(1) 主眼

構成の美しさに着目した班交流により，構想を深め，アイデアスケッチをよりよいものにしようとするようにする。

(2) 本時で意識するキャリア教育の視点

意識する能力	意識する視点の具体
A 人間関係形成・社会形成能力	○ 班員の作品のよさや工夫点について伝えることができる。 ○ 班員との交流により，自分の作品を高めることができる。

(3) 準備

学習プリント、パターン資料、シルエットなどの資料、アイデアスケッチ資料、実物投影機、プロジェクター、スクリーン、シャープペン、ペン、画用紙

(4) 展開

過程	学習活動・内容	指導上の留意点 (○) と評価規準 (◇) 意識するキャリア教育の視点 (◀▶) と手だて (◎)
導入	1 他クラスのオリジナルパターンやアイデアスケッチ例を実物投影機で見て、よさや工夫点、作者の意図や表現の仕方、よりよくするための方法などについて考える。 2 本時のめあてを確認する。	○ 本時のめあてを引き出すことができるように、他者の作品を見て、構成の工夫について考える活動を設定する。その際、パターンや、シルエットやアルファベットなどの構成の美しさを、作者の構想を思い浮かべながら考えさせる。
展開	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">構成の美しさを見つけて、アイデアスケッチを仕上げよう。</div> 3 班をつくり、各自のパターンやアイデアスケッチを描いた学習プリントを回覧しながら、よいところ(構成の美しさ)を交流する。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 交流の視点 ・構成の美しさ ・表現の工夫 </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> ・シンメトリー(左右対称)を使って画面の引き締めをしている。表現したい感情が2倍になって伝わる気がする。 ・リピテーション(繰り返し)をすることで動きが出ている。感情を開放した感じが伝わってくる。 </div>	○ 自分では気付かなかったパターンを知り、よりよい作品制作への挑戦意欲を喚起することができるように、班員のアイデアスケッチを回覧しながらお互いの作品のよさを認め合う活動を設定する。 ◎ 作品をよりよくするためのアドバイスができるように、構成の美しさ(シルエットやアルファベットなどを組み合わせ、シンメトリーやコントラスト、リピテーションなど)を見つけさせる。その際、「どのような発想で、どのように表現しているのか」という視点を持たせて交流させる。 <div style="background-color: black; color: white; text-align: center; padding: 2px;">◀A 人間関係形成・社会形成能力▶</div>
終末	4 全体交流として、他の班で構成の美しさが有効活用できている生徒のアイデアスケッチを、実物投影機で見る。 5 交流でのアドバイスをもとに、工夫したいことをまとめ、本番の作品制作に入る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> ・シンメトリー(左右対称)を使った方が、画面が引き締まるというアドバイスをもらったので、取り入れてみようと思った。 ・動きを出したかったので、Aくんが使っていたリピテーション(繰り返し)を使ってみようと思う。 </div> 6 本時の学習を確認し、振り返る。	○ さらに構想を深める手掛かりとなるように、机間指導の際に、構成の美しさが有効活用できているアイデアスケッチを複数選び、実物投影機で紹介する。 ○ 交流で学んだ構成の美しさの要素を生かし、作品をよりよいものにすることができるように、ヒントで得たシルエットなどに変更してもよいことを確認して取り組ませる。 ◇ 交流でのアドバイスを生かし、構成の美しさを工夫して自分の工夫をよりよくしようと工夫している。 <div style="text-align: center;">【思考・判断・表現】《ワークシート》</div>